

町田市公共施設再編計画策定にあたって これからの公共施設のあり方について市民説明会 開催概要

日程・開催場所

開催場所	日時	
なるせ駅前市民センター	6/24（土）	14 時～16 時
南市民センター	6/26（月）	19 時～21 時
木曽山崎コミュニティセンター	6/27（火）	19 時～21 時
忠生市民センター	6/28（水）	19 時～21 時
堺市民センター	6/30（金）	19 時～21 時
玉川学園コミュニティセンター	7/3（月）	19 時～21 時
鶴川市民センター	7/4（火）	19 時～21 時
馬場さくら会館	7/5（水）	19 時～21 時
野津田公民館	7/6（木）	19 時～21 時
市庁舎 市民協働おうえんルーム	7/7（金）	14 時～16 時

- 内容
1. 説明
 - ・ 町田市の公共施設の現状・課題
 - ・ 再編に向けた考え方
 2. 質疑応答

参加者 90 名

主なご意見等

【人口について】

- ・ 人口減少は避けられないというように説明されていますが、それを避ける工夫も必要ではないか。
- ・ 開発の見通しについて、市はどう考えているのか。人口のコントロールが重要だと思う。

【財政について】

- ・ 工芸美術館や陸上競技場の拡充といったものにお金を多く投入されることについて、市民に問いかけがなく進んでいる。
- ・ 野津田のグラウンドや南町田の開発にかけているお金を少し減らすという話はないのか。スポーツ施設にお金をかける一方で、施設を統合するといった話は全体としてバランスを欠いて、一貫性が無いような気がする。
- ・ 更新費用が出せないことがわかってきたのはいつ頃なのか。将来老朽化の対策費用が増えるということとは予測していなかったのか。どう毎年度の予算編成上反映してきたのか。

- 資料に記載している公共施設の更新費用予測は、誰がどのように見積もりをしたのか。公共施設にはいろいろな特徴があり、積算の仕方も違うと思う。
- 維持管理コストを下げる工夫はあるのか。維持管理や運営費がかからない建物にして欲しい。
- 税収を増やすことなどは考えられるのか。
- 東京都は、オリンピックを開催する余裕と自信があるが、そのようなお金は今後回ってこないのか。

【地域について】

- 統廃合はいいと思うが、地域住民が満足できるのか。大きい方向性だけでなく地域単位の検討もしてほしい。
- 若い年代が多い地域もあるが、高齢化が生じてきている地域もある。そのような地域差を考慮してほしい。

【交通について】

- 集約するとすると、交通手段といった施設までのルートの整備をきちんと考えないといけない。
- お年寄りの方や障がいをお持ちの方に対して、交通の便をよくすると言ってもどのようにするのか気になる。
- 交通を補填しましょう、という話に予算がかかると、結果が同じになるのではないかと思う。

【今後の方向性について】

- 現在活動している人たちが多くいる中で、その場所をやめるということは大きな損失だと思う。
- 共働きも増えてきている。60 歳を過ぎても用事のある人が多い。集会施設などの公共施設に行く時間がある人がどれぐらいいるのか、といったことも感じる。
- 利用度や将来の要求等を調査して、やめるものはやめるといった勇気を持たないといけない。
- 集約した施設は防災でも役立つ施設になるのか。
- 利用している人の数だけで判断して、施設を無くしてしまうのはどうかと思う。サービスの向上も頑張っていたきたい。
- 合併再編することによってそれぞれの施設の持ち味が薄められるのではないか。
- 国や都、民間施設も含めて大胆に取り組んだ方がいいのではないかと思う。
- 集約ではなく、小さい施設を分散して配置するべき。
- お年寄りは動けないので、大きい施設ではなく、小さい施設を多くつくることも必要。
- お年寄りと子どもの施設の組み合わせが良いのでは。片方の施設が減って片方の施設が増えるということがないように。
- 先に“町田らしさ”の議論があって、初めてどのように統廃合するのか、複合化するのが出てくる。
- 近隣市との連携を積極的に行うことで住民に身近なサービス提供や機能の維持ができるのではないか。
- 全体的に民間の力を活かしていきたいという計画になっているが、民間といっても色々ある。地域なのか企業なのか、地域ごとに違うとは思いますが、ビジネスチャンスでもあるので優先順位を整理しておかないといけない。
- 色々な施設をつくっても、地域の人口が少ないと民間にリードする人がいなかったり、つくった施設の

管理ができない、人が集まらないといったことが無いように、官民連携といっても時間をかけて話し合う必要がある。公共ばかり頼りにしても発展的なものではないと思う。

- 施設を集約しながらも、一方ではサービスを確保しなくていけない中で民間のノウハウを利用したり、学校を利用したりして地域の人にやってもらいたいということか。そうであると住民の費用負担が出てくるのではないか。高齢者が増えていく中で、民間にこのようなサービスの提供ができるのか。
- 市民の活動に対して、行政としてどのようなサポートをするのか。
- 多目的・多用途という言葉は聞こえがいいが、ポプリホールに関わってきている中で、子どもが自由に遊ぶためのプレイルームが有料の施設になってしまった経緯もある。絵に描いた餅にならないように、要のところでしっかり運営していかないといけない。
- 今後高齢化していく中で、利用者は集まるのか、運営できるのか、と考えると、果たして実現できるのか、計画が進められるのか心配。
- 施設の利用者が少なく、コストに合わないということで計画が進んでしまうことを心配している。
- ハコモノの考え方を変えていかなくてはならない。目的別、年齢別といった観点からも考えてもらいたい。
- 再編計画でいいものをつくるためには、コストをかけないといけない。いいことをするためには市債を出してでもしてもらい、それにより住民を増やして返していくということも考えてもらいたい。
- 建替えや大規模修繕をするのであれば後で維持管理や運営費がかからない建物にしてほしい。

【今後の学校のあり方について】

- 現在の状態の学校がこのまま続くことは考えにくいので、今後も小中学校を減らしていかないと、市の財政が維持できないと考える。
- 通っている人が遠くなることを考えると、学校は減らさずに多機能化させて、社会に開いていくべき。
- 小学校の中に複合的なものを入れていくべきだと思うが、お金が無いならそういうこともできないのではないか。
- 学校を再編で使っていくというイメージがあるが、今はどこも使っていない。子どもたちが少なくなって学校が廃校になっているが、早く使わなければ建物がだめになってしまう。使用するための横のつながりというものがきちんとできるのかが疑問。
- 教育のあり方とリンクさせながら学校の改修計画を考えていく必要があると思う。
- 学校を多世代で利用できるような場にしていったときに、アクセス手段が必要になる。全ての学校に駐車場をつくるわけにはいけないと思う。
- 建替えるだけでなく、貸し出して収入を得るといったことをうまくやる必要がある。
- 学校を再編する中では、施設数も再編しなくてはいけないと思う。

【今後の個別施設のあり方について】

- 5ヵ年計画であり方を見直すとしている図書館について、旧5ヵ年計画で図書館が2館新設されたのに、今回の5ヵ年計画で減らしてしまうのは納得しづらい。
- 5ヵ年計画で文化施設を統合の対象とすることが、町田市の方針としてはどうなのか。
- 図書館の方向性を先に決めるのではなく、図書館のある団地や商店街を相乗効果で改善してい

うという話を、縦割りではないよう検討してもらいたい。

- すみれ会館と図書館、保健所を一体にすればスペースは空く。単価が上がる前にやるべきだったと思う。
- 中規模会館の維持費は町内会で負担という約束をしたが、結局何十年も経つとできるところとできないところがある。町内会で集会施設を管理しているが、改修工事を申請してもなかなか予算が頂けない現状もある。
- 生涯学習センターは現状でも施設の稼働率は非常に高いので、これ以上活用を図るとなると、オーバーフローする分を移転する必要があると思う。
- 障がい福祉施設の民間譲渡については、基準、手順をある程度示していかないといけないと思う。

【計画の進め方について】

- 財政面の見通しの裏付けやどれぐらい費用を抑えないといけないといったガイドラインはあるのか。
- 公共施設は一律ではなく、絶対的に必要な施設とニーズ的に必要な施設があると思う。必要性で分類しながら考えていくことが必要ではないか。
- 再編計画というのは、今後も段階ごとのフェーズがあって見直していくということか。
- 現在の状況では、市民の意見を聞いたとしても、ごく少数の人しか聞いていない。少数の意見を尊重して決まったあとで市民に説明するというパターンが繰り返されると、市民から不満が出てくることが懸念される。やり方を変えないといけない。
- ワークショップについてはこれまで開催してもいつも同じ人達が意見している。今までと同じような意見の聞き方でいいのか。
- 本来であれば、公共施設の再編は身近な話。その意味では、説明会に来る人が少ないのは、市民が認識していないのかなと思う。
- 現実が変わるモデルというか叩き台があると、みんなが興味を持って、意見が出てくると思う。
- 市民サービスの低下がおこるのではないか。それを補完するのは地域であって、その効果を市の数字に振り分けていくと言っているように聞こえる。施設を統合するときに反発がくるのではないか。
- 市民に対する説明会と併せてどのような形で計画の策定を行っていくのか。
- 再編計画の内容は次期の5ヵ年計画に反映されるのか。
- この計画について、市の町内会や自治会とのコンタクトはどうなっているのか。
- このような計画を市民と一体となって一つの形を作っていくとしているが、私たちが一生懸命やっていったときに、市長や議会から最期に計画を拒否されるということはないのか。
- いろいろな部署が関わっていると思うが、問題やこの計画を共有することはしているのか。
- 38年間の計画だが、職員がそのまま現在の職にいないことはいえないと思われる中で、行政的な保障はあるのか。

【その他】

- 行政は収益を目的としているものではないと思うので「経営的」という言葉が行政のいたるところで使われていることに違和感がある。
- 他の自治体の例があったが、市の規模や特徴が違う。町田市と似た自治体の例はあるのか。また、

町田で何をやっているかを説明してほしい。

- ホームページなどで公開している資料が大変探しづらい。検索した際、関連の資料もわかるようにしてほしい。
- 指定管理者の評価を見ると、収益に重きを置いているので、市民目線でも見てほしい。
- 公共施設として、市と市民がどう育てきたかという、経過や愛着などの情報を市民に公開してもらいたい。この計画と並行して、市のコストに対する意識変革をしていく必要がある。
- 高齢化が進む中で、みんなが健康であれば医療費も少なくて済むと思う。